

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画 書
(奈 良 県 ・ 桜 井 市)

令和 3 年 1 月 5 日

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月05日

計画の名称	良質な都市の水環境の保全（防災・安全）（第三次）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	桜井市											
計画の目標	本市の下水道事業は、昭和48年11月に大和川上流域関連公共下水道として都市計画法に基づく計画決定を受け、令和2年度末時点において布設後40年を経過した管路は約20kmに達しており、今後は調査・点検や改築・修繕に重点を置く必要がある。持続的資産の使用のため戦略的に対応する桜井市公共下水道ストックマネジメント基本計画の策定を令和元年度に行い、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することを目指す。また、桜井市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき長寿命化対策を含めた計画的な対策を行うことを目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	121	A	121	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	桜井市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、一般環境下の重要な幹線等における対象管路施設（7.27km）の点検を実施する。 点検済み既存管路施設率（%） 点検済みの既存管路施設（km） / 点検すべき既存管路施設7.27（km）	0%	50%	100%
2	桜井市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、マンホールポンプ場の目標耐用年数を超過する対象施設（機械設備9箇所・電気設備7箇所）について計画的な改築・修繕を行う。 改築済みの既存マンホールポンプ場施設率（%） 改築を行った既存マンホールポンプ場施設の電気設備及び機械設備の総数（箇所） / 改築すべき既存マンホールポンプ場施設の電気設備及び機械設備の総数16（箇所）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
ストックマネジメント基本計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R03	R04	R05	R06	R07						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	桜井市	直接	桜井市	管渠(汚水)	改築	大和川上流・宇陀川流域 下水道第1処理区(ストマネ ジメト)	調査・点検・改築	桜井市						121		策定済			
		ストマネ																				
													小計						121			
													合計						121			

事前評価チェックシート

計画の名称： 良質な都市の水環境の保全（防災・安全）（第三次）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県処理構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○

(参考様式2) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	良質な都市の水環境の保全 (防災・安全) (第三次)	交付対象	桜井市
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)		

